

## 第2 暴力団情勢と対策

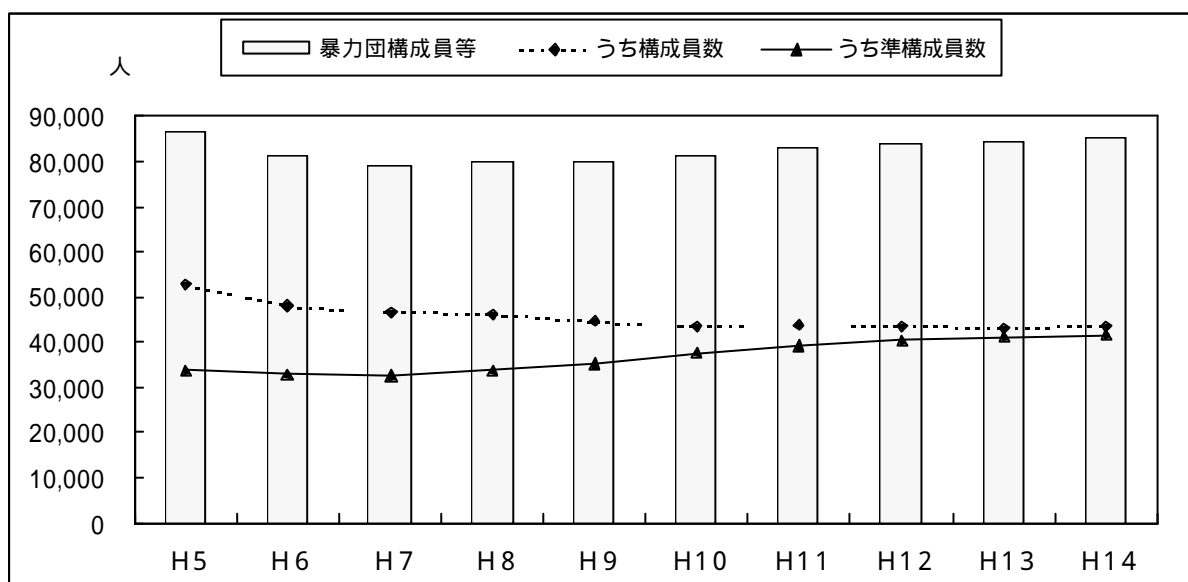
### 1 暴力団情勢

#### (1) 暴力団構成員等の状況

暴力団構成員及び準構成員（以下「暴力団構成員等」という。）の合計数は、平成8年以降増加傾向にあり、平成14年末現在約8万5,300人で、引き続き増加している（前年比約900人（1.1%）増加）。うち暴力団構成員数は約4万3,600人で、平成10年からはほぼ横ばいの状態であるが、準構成員数は平成8年以降一貫して増加しており、平成14年末現在で約4万1,700人となっている（図表2-1）。

また、五代目山口組、稲川会、住吉会の3団体の構成員は約3万1,200人（全暴力団構成員の71.6%）である。

図表2-1 暴力団構成員等の推移

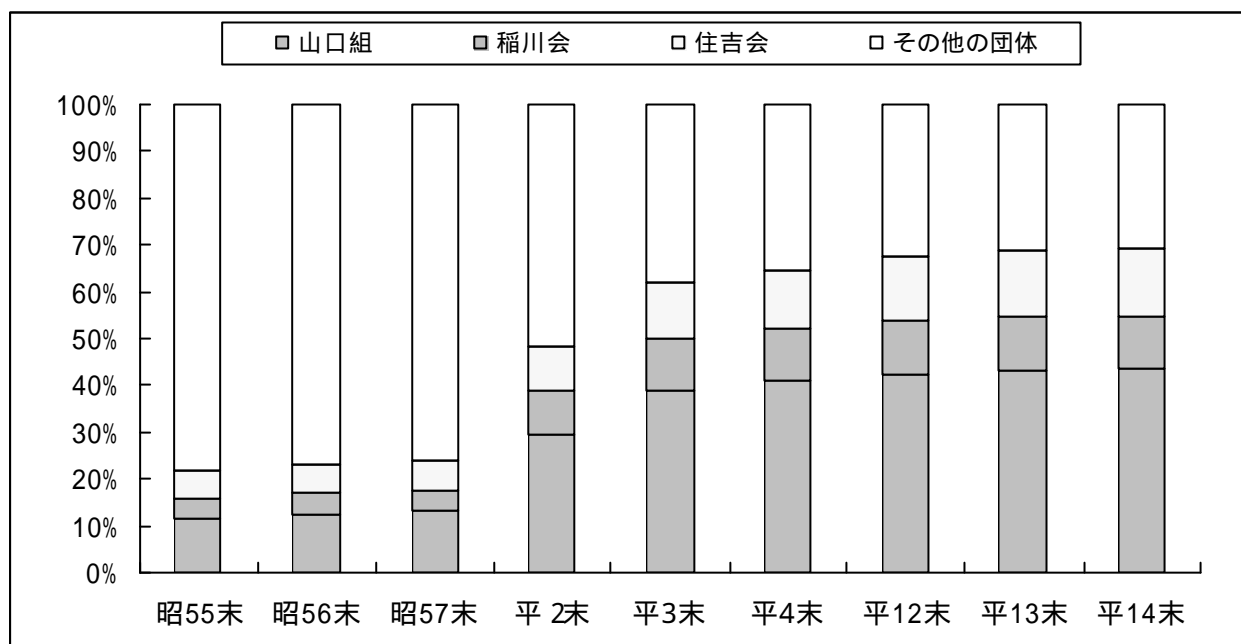


年次	平5末	平6末	平7末	平8末	平9末	平10末	平11末	平12末	平13末	平14末
暴力団構成員等数	86,700人	81,000	79,300	79,900	80,100	81,300	83,100	83,600	84,400	85,300
うち構成員数	52,900	48,000	46,600	46,000	44,700	43,500	43,900	43,400	43,100	43,600
うち準構成員数	33,800	33,000	32,700	33,900	35,400	37,800	39,200	40,200	41,300	41,700

## (2) 主要三団体による寡占化

平成14年末の五代目山口組、稲川会及び住吉会（以下この項において「主要三団体」という。）の暴力団構成員等が全暴力団のそれに占める割合は約70%となっている。暴力団構成員等における主要三団体の比率の推移をみると、20年前は20%強にすぎなかったが、その10年後には50～60%に上昇し、そして最近3年間では約70%を占めるに至っており、主要三団体による寡占化が進行している状況にある（図表2-2）。

図表2-2 主要三団体による寡占化の推移（構成員等における比率）



年次	昭55末	昭56末	昭57末	平2末	平3末	平4末	平12末	平13末	平14末
三団体合計	21.9%	23.0	23.9	48.4	61.6	64.5	67.7	69.0	69.1
山口組	11.4	12.5	13.0	29.7	38.9	41.1	42.3	43.0	43.3
稲川会	4.0	4.1	4.2	9.4	10.8	10.8	11.5	11.5	11.4
住吉会	6.5	6.4	6.7	9.3	12.0	12.6	13.9	14.5	14.4
その他	78.1	77.0	76.1	51.6	38.4	35.5	32.3	31.0	30.9

## (3) 組織の解散、壊滅状況

暴力団組織の解散、壊滅数は、平成14年は全体で160組織（構成員数921人）であり、そのうち主要三団体の傘下組織の解散、壊滅は115組織（構成員数664人）で、全体の71.9%（構成員数72.1%）を占めている。